

食流機構

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構
<http://www.ofsi.or.jp/>

2017

1 月号

No.253

OFSI

the ORGANIZATION OF FOOD-MARKETING STRUCTURE IMPROVEMENT

I N D E X

年頭のご挨拶	②
ふくしまの恵み商談会 2017 のご案内	③
震災時における連携・協力のための食品産業事業者 マッチングセミナーの参加者募集について	④
消費税軽減税率制度に関する全国説明会のご案内	⑤
連載 食流紀稿（第二話）／機能性表示食品セミナーのご案内	⑥
連載 当たり前田の会計入門⑩／気が付けば朗朗介護！⑮	⑦
インフォメーション	⑧

巻 頭 言

新年を迎えるにあたり、多くの人はその人なりに前年の出来事を振り返るとともに、希望をもって新しい年の展望をしたいと思うのが通例であろう。

しかし、筆者にとって、2016年が様々な分野であまりにも予想外のことが多く起こり、新年になって何が起こるか予測しにくい状況にあり、なかなか明るい展望を持ちにくい状況にある。特に世界の政治の動きには予想外のことが多く起こり、その感を強くした。

とはいえ予想外と思うのは各自の予想をするための知識や考え方の偏りによるもので、異なる知識や考え方の人にとっては当然のことであるかもしれない。例えば、アメリカの大統領選挙の結果についても、多くの識者といわれる学者やジャーナリストや外交評論家はその判断を誤ったといえるが、彼らの知識や考え方がクリントン候補優勢と思った人々のそれに近かったからで、ランプ氏やサンダース候補の支持者は異なった予想をしていたかもしれない。イギリスのEU離脱についても同様だろう。問題は、そのようにこれまでの常識的ともいえる予想が成り立たない現象が世界的に多くなるということが持つ意味であろう。筆者は、このような事象は世界の転換期に多く起こるので、今年あるいはこれから数年はその転換期にあたるので、何が起こっても不思議はないと思うのである。

ご存知のように今から約100年前、ヨーロッパではオースト

リー帝国の皇太子の暗殺がきっかけで第一次世界大戦が勃発し、それにより戦争の仕方はもちろん、欧州各国の政治体制や産業も大きく変わり、特にロシア革命により社会主義を標榜するソヴィエト連邦が成立するという大転換が行われた。そのあと20世紀は戦争と革命の世紀と呼ばれるようになる。第一次大戦がはじまった時点で、このような大転換が起こると予想した人はいなかったのではないかと。それと同じように、一つ一つはそれぞれの事情による変化でも、それがいつか大きな転換に結びつくようなそんな予感のする新年である。

もちろん当たるも八卦、当たらぬも八卦で、筆者の思い過ごしであればよいが、「まさか！」と思うことがあっても不思議はないような時代に差し掛かっているのではないかとその思いを強くしている。

食品流通業界では、去年は豊洲市場移転のように予想外の問題で予定を変更せざるを得ないことも生じている。今年も予想外のことが起きるかもしれないが、事業に携わる皆様には、何事が起きても驚かず冷静に対処するよう日常から様々な角度から情報を集め、予断を持たず物事の変化に対処されようお願いしたい。

新春にあたり所感の一端を述べて、皆様のご健勝とご多幸をお祈りする次第である。

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構

会 長 馬場 久萬男

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、当機構の諸事業に対し、一方ならぬご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年一年を振り返ってみますと、国内外で様々な出来事が発生し、落ち着いた一年とはならなかったように思います。国内では、アベノミクスが4年目となる中で、投資や消費の更なる刺激策として、1月末に「マイナス金利」が導入され、各業界や市民生活にさまざまな影響が生ずることとなりました。また、6月には、我が国経済の回復力が弱いことから、本年4月に予定されていた消費税率の引上げと食料品等に対する軽減税率の導入が平成30年10月まで2年半延期されることとなりました。他方、近年急増している訪日観光客は昨年10月末時点で2千万人を超え、最高記録を更新しましたが、いわゆる爆買いが影を潜める等インバウンド消費の減速感が強まりました。

また、自然災害が多く発生した一年でもありました。熊本（4月）、鳥取（10月）、福島（11月）と地震が続発し、甚大な被害が発生するとともに、8月には北海道・東北地方に複数の台風が連続して上陸し、土石流や河川決壊などの被害が生じました。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、本年こそ災害のない年となるよう願う次第です。

嬉しいニュースもありました。大隅良典東京工業大学名誉教授がノーベル医学・生理学賞を受賞され、3年連続の日本人受賞となったほか、リオ五輪での日本選手の活躍も記憶に新しいところです。また、ポケモンGOや映画「君の名は。」などが世界的にヒットし、我が国のソフトパワーを改めて認識した年でもありました。

海外では、予想外の出来事が次々と発生した一年となりました。イギリスでは6月の国民投票の結果、EU離脱派がよもやの勝利を収め、また、11月には米国の大統領選挙でドナルド・トランプ氏が事前の世論調査を覆して勝利しました。こうした結果には内向きの自国第一主義の動きが見られるとして、今後その潮流が世界的に広がることが憂慮されています。さらに、4～5月にはパナマ文書が公開され、世界各国の政治家や企業幹部、著名人等の租税回避行動が明らかとなりました。今も文書の分析が進められており、今後も議論を呼ぶ可能性があります。テロも相変わらず欧州を中心に世界各地で続発し、7月にはバングラデシュでレストランが襲撃され、日本人も犠牲者となるといった悲しい出来事もありました。

私ども食品流通業界に関係のある事柄としては、11月に予定されていた築地市場の豊洲新市場への移転が「盛り土」問題等が浮上したことにより延期され、移転時期が不透明となったことから、市場関係者にとって不安なまま年を越すこととなりました。また、11月には農業競争力強化プログラムが政府決定され、その中で「生産者の有利な流通・加工構造の確立」として、卸売市場について合理的理由のなくなっている規制は廃止する等の大胆な方向が示されました。このため、食品流通業界は、今後示される具体的な見直し内容に適切に対応することが必要となるものと思われます。さらに、TPPについては、我が国は国会承認を終えたものの、TPPに反対の立場を取るトランプ氏が米国大統領選で勝利したことで、その先行きが不透明なものとなっています。なお、昨年も食品メーカーの廃棄肉の転用等の事件が起き、食品流通関係者に衝撃を与えたことも忘れることはできません。食の安全安心は消費者が最も敏感に反応する問題であり、このような不祥事は、本年こそ根絶して欲しいものです。

こうして多くの課題を抱えつつ迎えた本年の干支は酉。申年と戌年の間の酉年は、犬猿の仲を取り持つ年でもあると思いますので、本年が落ち着いた一年となることを期待したいと思います。本年が皆様方にとって良い年となりますことを、また、食品流通業界が一層の発展を遂げる年となりますことを祈念いたしまして、私の年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成二十九年 元旦

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構
会 長 馬場 久萬男





バイヤーのみなさまへ特別なご案内

出展企業数
100
社程度
(2016年実績 106社)

美味しいものどころ ふくしまの恵み 商談会

Fukushima no Megumi

2017

ホームページより
来場事前申し込み
受付中!!
umai-fukushima.com

開催日 2017年 **1月12日** [木]
11:00 ~ 17:00

会場 東京国際フォーラム 展示ホールE1
主催 福島県

福島県内の生産者・加工食品メーカーが集合!!
新しい食材に出会う絶好の機会です。

- ◆名称 美味しいものどころ ふくしまの恵み 商談会 2017
- ◆日時 2017年1月12日(木) 11:00 ~ 17:00
- ◆主催 福島県
- ◆協力 (一社) 新日本スーパーマーケット協会、日本食糧新聞社、(一社) 全国農業会議所、
(一社) 福島県農業会議、全国農業協同組合連合会福島県本部

◆会場 東京国際フォーラム 展示ホールE1 (東京都千代田区丸の内 3-5-1)

◆プログラム **【個別商談会】福島県の生鮮品や加工品などの情報収集・
交換が効率的に行えます。**

福島県の有力な生産者や加工食品メーカーが揃う商談会です。会場での試食はもちろん、生鮮品や加工品についての魅力も含め、効率的な情報収集が可能です。



**【出展ブース展示】商品についての詳細情報をまとめた
FCPシートを全出展者が用意**

取り扱っている生鮮品や加工品について、その特徴や生産・製造工程、品質管理情報など詳しい情報をまとめたFCPシートを用意しています。商談会中、商談会後に情報の整理に活用頂けます。



◆入場料 無料(業界関係者の方のみが対象です)

◆お問い合わせ 美味しいものどころ ふくしまの恵み 商談会 2017 事務局

TEL: 03-6457-8998【受付時間: 平日 10:00 ~ 17:30 (休業日/土・日・祝日)】

FAX: 03-6457-8753

E-mail: umai-fukushima@makicom.co.jp / URL: http://umai-fukushima.com

震災時における連携・協力のための食品産業事業者マッチングセミナーの参加者募集について

主催 食料品地域物流円滑化等推進協議会

食流機構が事務局を務める食料品地域物流円滑化等推進協議会が昨年度に引き続き実施中の食品サプライチェーン強靱化総合対策事業において、「震災時における連携・協力のための食品産業事業者マッチングセミナー」を以下のとおり開催することとなりました。

本セミナーでは、首都直下地震及び南海トラフ地震の被災が想定される地域において、震災時における食品サプライチェーンの強靱化に関する講演を行うとともに、連携・協力関係構築に関する具体的な事例をご紹介します。加えて食品産業事業者の立地状況等をまとめた食料産業ハザードマップを解説します。また、セミナー終了後には、震災時における連携・協力体制の構築を図るための食品産業事業者同士によるマッチング（意見交換会）を開催しますので、この機会に多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◆プログラム（各会場共通）

時 間	講 演 内 容
12:30～	受付開始
13:00～13:05	主催者挨拶
13:05～13:30	震災時における食品サプライチェーンの強靱化について
13:30～14:00	震災時における連携・協力関係構築に関する事例紹介
14:00～14:20	食料産業ハザードマップの解説
14:20～14:30	休 憩
14:30～16:00	震災時における連携・協力体制構築のための食品産業事業者によるマッチング
16:00	閉 会

◆開催日程

開催日程	会 場	申込締切
2月1日（水）	東京会場（フォーラムミカサ エコ 7Fホール）	1月27日（金）

◆お申込方法等

申込方法：以下のウェブサイトから簡単にお申込みいただけます。

URL：<http://www.ofsi.or.jp/ailf/h28seminar/>

参 加 費：無料（事前登録制）

◆お問い合わせ先

食料品地域物流円滑化等推進協議会事務局

TEL：03-5809-2897 / FAX：03-5809-2183（担当：田中）

◎食料産業ハザードマップ

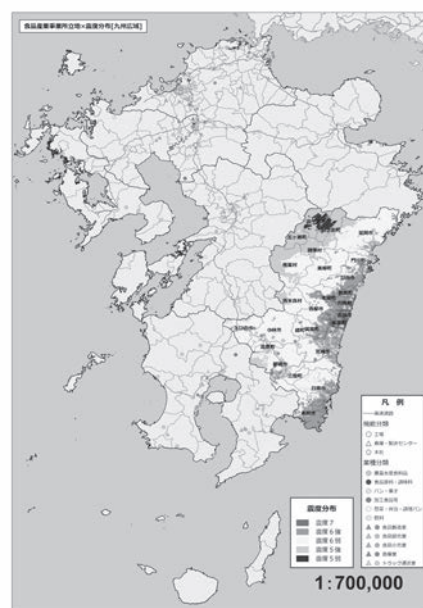
本セミナーでご紹介している食料産業ハザードマップ（PDF）を以下のサイトにも掲載しておりますので、是非ご活用ください。

●今年度事業により作成した食料産業ハザードマップ（地域別バージョン）

URL：http://www.ofsi.or.jp/ailf/food_hazardmap28/

●昨年度事業により作成した食料産業ハザードマップ（広域バージョン）

URL：http://www.ofsi.or.jp/ailf/food_hazardmap/



食料産業ハザードマップのイメージ（九州広域）

消費税軽減税率制度に関する全国説明会のご案内

社会保障と税の一体改革の下、低所得者に配慮する観点から、「酒類・外食を除く飲食料品」と「定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞」を対象に、消費増税にともなう「軽減税率制度」が平成31年10月に導入されることとなりました。

本説明会では、食品流通事業者やその関係団体の方々などを対象に、軽減税率制度（軽減対象品目の内容、税額計算の方法など）及び軽減税率対策補助金と食料品店の今後の経営について、中小企業診断士の資格を持つ専門家が分かり易く解説いたします。また、同会場において、複数税率対応レジや受発注システムに関する「展示ブース」を併設し、システムベンダーがより具体的なご相談にもお応えする予定なので、この機会に多くの皆様のご参加をお待ちしています！

◆プログラム（各会場共通）

時 間	講 演 内 容
12:30～	受付開始
13:00～13:05	主催者挨拶
13:05～14:30	消費税軽減税率及び軽減税率対策補助金制度の解説と食料品店の今後の経営 (講師) 杏林大学総合政策学部 非常勤講師 佐藤 卓 氏
14:30～15:00	<相談・展示コーナー>での相談及びシステム・機材等の紹介
15:00	閉 会

講師（佐藤卓氏）略歴

経 歴

- 1976 東京理科大学工学部経営工学科卒業
- 1979 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了
- 1979 中小企業診断士 工鉱業部門登録
- 1987 中小企業診断士 情報（流通）部門登録
- 1987 情報システムコンサルタント（日本情報システム・ユーザー協会）登録
- 2012～ 杏林大学 総合政策学部 非常勤講師（現職）

所属学会

- 経営情報学会 / 日本経営診断学会

著 書

- 中小企業診断士の「経営診断・支援原則」と「業務遂行指針」（平成16年3月、編、同友館）
- コンサルティング・イノベーション（平成16年11月、共著、同友館）
- その他、著書多数



◆開催日程

開催日程	会 場	申込締切
1月13日（金）	高松会場（高松市中央卸売市場 管理棟5階 大ホール）	1月10日（火）
1月19日（木）	長野会場（JA 長野県ビル 12A 会議室）	1月16日（月）
1月27日（金）	沖縄会場（沖縄県立博物館 博物館講座室）	1月23日（月）
2月16日（木）	大阪会場（大阪市中央卸売市場本場 業務管理棟16階 大ホール）	2月13日（月）
2月17日（金）	京都会場（京都市中央卸売市場第一市場 10号棟3階 大会議室）	2月13日（月）

◆お申込方法等

申込方法：こちらのウェブサイト（URL：http://www.ofsi.or.jp/keigen_zeiritsu/seminar/index.htm）から簡単にお申込みいただけます。

参 加 費：無料（事前登録制） 定 員：50～80名（各会場）

◆お問い合わせ先

食品流通構造改善促進機構 消費税軽減税率対策相談窓口（TEL：03-5809-2658） 担当：前田・田中・濱田



食流紀稿 第二話

モチと雑煮の好ましき

去年今年（こぞことし）貫く棒の如きもの（虚子）
明けましておめでとうございます。

元々の性格が若さ故か、昔は、昨日と今日と何が変わる、何がめでたいと思っていたが、近年とみに、一年を無事に終え新しい一年を迎えることが出来たことを感謝するようになりました。最近是一年どころか日々新しい朝を迎えるごとに、おめでとうと言いたい気分です。正月はめでたく明日もおめでたい。時間には絶対時間と各人の持つ相対時間がありますから、高齢になるほど時間の経つのは早くなります。

毎年、年末年始はサッカー、駅伝、ラグビーとテレビ観戦に忙しく、ひたすらミカンとモチ、あり合わせのおせちで時を過ごします。特にモチが好きで、のどに詰まりそうになりながら食べ続け、毎年、正月だけでなく一年中食べようと決意するのですが、年頭の決意と同じく3日で忘れます。親類が集まって行う餅つきを見ながら、小さな「あんころ餅」を一つももらえることを楽しみにしていた子供の頃の思いが今も続いているのでしょうか。

正月の祝いは、奈良時代の宮廷の公式行事から始まったとされていて、庶民が正月を祝い雑煮を食べるようになったのは室町時代からと言われています。雑煮は「式三献のなかの酒の肴」であり、「正月に出される餅と野菜で作った煮物」と文献で定義されていますので、正月に酒を飲みながら料理をつまむのは、日本の食文化の伝統に則った正しい作法です。

飛鳥時代には鏡餅が神にお供えされていて、モチは人の生命に力を与える霊験あらたかな食べ物と考えられていました。そして神に捧げたモチを、同じくお供えしていた土地の野菜とあわせて煮るのがお雑煮であり、単なる「ごった煮」ではありません。お雑煮は神と共に食べる「直会（なおらい）」の主菜です。お雑煮のレシピが今でも各地で全く違う地域性が強いのは、そうした食文化の歴史の一つの表れです。

食事の時に「いただきます」「ごちそうさま」と手を合わせることに象徴されているように、食事は神様から頂き神様に感謝を捧げながら、ただ神様から頂くだけでなく神様と一緒に食べる「神事」です。寝転がってテレビを見ながらつまむようなものではありません。

経験のある方もおられるでしょうが、仏壇のお下がりで固くなったご飯を食べさせられるのは嫌なものです。あれを食べるのは子供の仕事のように、嫌がって親にひっぱたかれた経験があります。「神様仏様も、食べるのだったら残さず食べろ」と思ったのですから相当ひねた嫌な子供だったのでしょう。

平成28年度6次産業化促進技術対策事業「機能性表示食品セミナー」のご案内

**話題の「機能性表示食品」の表示を「1年以内」で
あなたの商品パッケージにつける方法があります！**

◆開催概要

中小企業の方や6次産業化を試みている生産者・JAの方を対象とした「機能性表示食品セミナー」を食流機構が開催しています。本セミナーでは、大手企業が商品開発を行っている加工度合いの高い機能性表示食品とは一線を画し、加工度合いの低い商品に機能性を持たせ、他の商品との差別化ができる実践的な内容をお伝えします。

【第1部：講演会】（13：00～15：10）

◇プログラム

時 間	講 演 内 容
12：30～	受付・開場
13：00～13：40	★制度の概要：生鮮・加工度合いの低い食品に絞って解説します！
13：45～14：25	★テクニック：生鮮食品の機能性実証には近道があります！
14：30～15：10	★実践：生鮮品を生かすには！規格外品の有効活用なども含めてご提案します。

【第2部：相談会】（15：30～20：00）

講演会終了後の第2部では、講演会でご講演いただいた3名の講師が、皆様の疑問点について個別相談に応じます。

◆開催日程

開催日程	開催時間	会 場	申込締切
1月19日（木）	13:00～20:00	高松会場（高松商工会議所）	1月12日（木）
2月23日（木）	13:00～20:00	那覇会場（沖縄産業支援センター）	2月16日（木）
3月7日（火）	10:00～17:00	幕張会場（幕張メッセ フードデックス 第9ホール）	2月23日（木）
3月8日（水）	10:00～17:00		
3月9日（木）	10:00～17:00		
3月10日（金）	10:00～16:00		

◆お申込方法等

FAXにて先着順で受け付けますが、定員に達した時点で締切とさせていただきます。詳細につきましては食流機構のホームページをご参照ください。

◆お問い合わせ先

公益財団法人 食品流通構造改善促進機構 業務部（TEL：03-5809-2176） 担当：杉本・穴見



当たい前田の 会計入門 ⑩

新 年を迎え新たな気持ちで酉年を頑張っていきたいと思います。今年も1年よろしくお願ひします。昨年度は経済事件が多発したり、国際政治も大きな変動があったり、流動的な1年でありましたが、今年は日本経済をはじめ、明るいう年になることを願っております。さて、新年号から勘定科目の意味について解説をしたいと思ひます。

【勘定科目の意味を正確につかむ】

① 数値を読み取る前に行ったこと

貸借対照表を上下で二分割することによって、運転資金と固定資金のそれぞれの資金バランスを知りましたが、ここでひとつ、その資金バランスは「金額の大きさを面積で表している」ということに過ぎませんでした。つまり、流動資産が多ければ流動資産の部分の面積を広く描くことによって、資金バランスというものを表現したのです。実際の貸借対照表は「資金の大きさを面積で表したりしない」からです。したがって、資金バランスを読む場合には、や・は・り、数字を比較しながら読み取ることが一番なんです。

② 勘定科目の意味

貸借対照表を深く読むならば、十分に勘定科目の性質を理解して、数字の裏側に隠された真の意味を読み取らなければなりません。

③ 流動性配列法

勘定科目にはたくさん種類があります。これら勘定科目ですが、貸借対照表の上にむやみやたらと並んでいるわけではありません。勘定科目にも配列のルールがあります。資産では、現金を筆頭に流動性の高いもの、つまり換金しやすいものから順番に並べられています(図1参照)。負債も支払わなければならない度合いが高いもの(図2参照)から順に、上から下に向けて配列していくことになります。この並べ方が「資金バランスを読み取る」には便利なのです。(続く) (M)

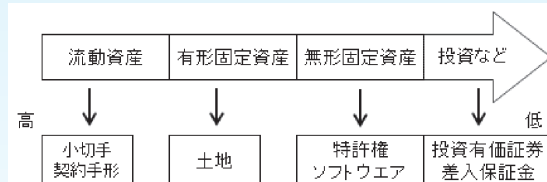


図1: 資産の換金性

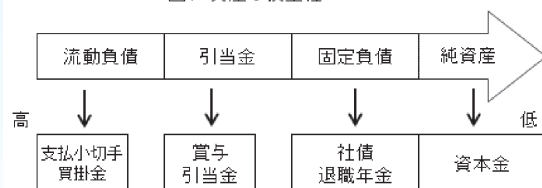


図2: 負債・資本の支払義務

連載「気が付けば朗朗介護！」⑮



最 初に面接を申し込んだのは、Y市立の脳血管・神経脊髄専門病院に隣接した介護老人保健施設(以下「老健」)だ。ここは数年前まで公立病院の附属リハビリテーション施設だったので、確たる理由はないものの、なんとなく安心感があった。病院と老健は隣接ではなく、院内で行き来できるようになっていることも後で知った。特養ホームなど老人施設での虐待行為は年々増えているが、これは問題が表面化した一部分で、実のところもっとひどい状況だったりして…と疑いだしたら、安心して肉親を預けられない気持ちに誰もがなるはずだ。ショートステイの時に施設選びの経験はあるものの、いざ長期間の入所となれば慎重にならざるを得ない。

この老健は、現在は民間の運営になっているが、過去の経緯や公立専門病院に関係しているという、「なんとなく安心」的な判断で自分の第1志望となったのだ。

面接当日、ケアマネジャーの案内で施設内の見学から始まった。病室やリハビリ施設、食事の場所などを回り、レクリエーションをしている様子も見せてもらった。レクリエーションでは皆で簡単な運動をしたり、懐メロを歌ったり、ぬり絵や絵手紙を書いたりするそうだ。「老健は病院ではありません。日々の生活がリハビリにつながるのです。朝起きたらパジャマから服に着替えるし、昼は寝ないようにする、そうした日常の生活を送ることが大切です」と説明を受けた。なるほど、言われてみれば「地域包括ケア病棟」にいる時は、母はリハビリ以外ほとんどベッドの上だった。そのあとの面談では、どのような状態までの回復を望んでいるか、ここを出た後はどうしたいのかを聞かれた。年齢のこともあるので多くは望めないが、自力で排せつ、着替え、寝起きができるよう、転倒する前、要は3か月前の状態までになってほしいと、思いを語った。また老健は、3か月後に入居を継続するかを判定委員会を決めるので、3か月で退所するのが基本である。出来れば動けるまでおいてほしいが、ここを出た後はできるだけ自宅に連れて帰りたいと伝えた。そして「この後、医師、看護師、薬剤師、介護士、ケアマネジャー、リハビリ担当医師などで構成される判定委員会を経て、入所の最終判断が決まるので、それまで連絡をお持ちください」と告げられた。「老健が入所者を選ぶって、いったいどういう基準なのだろう? 家族は彙をもすが思っているのに、いかなる理由があれば、不合格になるのはつらいことだし」モヤモヤ感は消えなかったが、とにかく今は「合格」を祈るしかなかった。

さっそく病院のソーシャルワーカーに面接の様子を報告すると、「あの老健は入所条件が厳しいと聞いています。入居希望者も多いらしく、どうでしょうかね…。あと数件は当たったほうがいいと思いますよ」と言われ、ガクッリ肩を落とした。しかたなく翌日から目ぼしい老健に連絡を取り始めた。このあと二つの老健で面接を受け、三つ目に連絡を取ろうと思った矢先に、第1希望から「合格通知」が届いたのだ。とにかくホッとした。こうして10月の末に「地域包括ケア病棟」から「老健」へと移動することになった。老健に行くことは話しているのだが、一体どこへ連れて行かれるのか、母は不安げな面持ちで、車いすごと福祉タクシーに乗り込んだ。(続く) 渋柿

食流機構ホームページリニューアルのお知らせ！

この度、食流機構のホームページをリニューアルしました。従来より見やすく、より分かりやすいデザインになっておりスマートフォンにも対応しておりますので、是非ご覧ください。

公益財団法人
食品流通構造改善促進機構

：特定個人情報等基本方針：個人情報保護方針：お問い合わせ：リンク：

食流機構とは 主要事業 受託事業 事業実績 新着情報 流改法について

新鮮取引電子化
推進協議会

：MAP：お問い合わせ：

会長挨拶 経緯 組織 事業内容

AIFF 食料品地域物流
円滑を推進協議会

設立趣旨・目的 規約 組織 役員 会員 住所

新鮮標準商品コード more

新鮮標準商品コード体系ならびに新鮮標準商品コードは、流通BMSの普及をはじめとする、新鮮取引電子化の推進に欠かせないものとなっております。

新鮮EDI会報 more

会報（新鮮EDI）を発行して、新鮮食品分野における「電子商取引」や「流通」を取り巻く状況に関する最新のトピック等を紹介しております。

農林水産省補助事業

流通BMSの導入効果等を検証証書事業を実施することにより取りまとめ、流通BMS利用の図っております。

新着情報

2016/10/01	青果標準商品コードの品名を追加しました。
2016/09/28	平成28年度 第1回新鮮取引電子化セミナー（大阪・東京）開催のお知らせ。
2016/09/28	新鮮EDIの最新号【第73号】を掲載しました。
2016/09/09	平成28年度 第1回先進事例（国分 三郷流通センター）見学会開催のお知らせ（受付終了）。
2014/03/27	平成26年度食料品バリューチェーン構築支援事業に係る成果物を掲載しました。

青果標準
データ

食流機構
公益財団法人食品流通構造改善促進機構

設立趣旨・目的

政府における総合的な物流施策に関する大綱は、その時々経済社会の状況に対応した物流のあり方とその発展を明確に示してきたが、平成17年に新たな「総合物流施策大綱（2005-2009）」が閣議決定された。今後、推進すべき物流施策の基本的方向性が示された。

- スピーディーな物流ネットワーク構築の促進（国内一体となった物流の実現）
- グリーン物流など環境にやさしい物流の実現（食品流通関係：通・荷物の効率的な管理・回収システムの調査・実証 等）
- デマンドサイドを重視した効率的物流システムの実現（食品流通関係：卸売市場を中心とした新鮮食品流通の物流効率化システムの調査・実証 等）
- 国民生活の安全・安心を支える物流システムの実現（食品流通関係：電子タグを活用した食品の安全・安心システムの開発・導入を促進、水産物関係者等が連携した効率的な水産物流システムの構築・実証 等）

また、同大綱に関する「今後検討すべき具体的な物流施策（平成17年 総合物流施策推進会議決定）」において、貨物交通のマネジメントを課題に推進していくためには、都市物流の改善が必要であることが明記された。

このため、今後、内閣府は都市物流の改善を目的とし、事業者自ら主体的に取り組んでいくために、食品事業者が団体化して物流の改善を図ることを目指す。食品流通関係者（食品流通関係者）の連携・協力により、食品流通関係者間の連携を促進するとともに、食料品の円滑な流通を実現するために必要な課題の調査・分析を行い、食品流通関係者の発展を図ることを目的として、平成18年7月27日に「食料品都市内物流円滑化推進協議会」（会長 総務省：国土交通省 代表取締役会長兼社長）を設立した。

さらに、近年、わが国の食品流通業界を取り巻く情勢は、消費者ニーズの多様化・高度化等需要動向の変化、農産物輸入の増大等供給環境の変化、規制緩和による競争の激化、企業経営の効率化、外食産業の拡大、情報化の進展、物流の効率化、品質管理の高度化、要には人材不足等、新しい変化の中にある。このような新しい環境下において、同協議会の果たす役割もこれまで都市物流の中心から地域の食品流通の効率化等への対応が求められている。例えばバリエーション拡大など市場開拓促進、地域農産物の販路拡大等方などの課題に取り組む必要があることから、地域物流を対象とした事業に充実・拡大することとして、農林水産省の一部改正として「食料品地域物流円滑化推進協議会」（平成21年6月1日改定）へと名称の変更を行った。

OFSI のメール配信のご案内

本紙（OFSI）は毎月1日に発行して皆様方にお届けしておりますが、発送と同時に食流機構のホームページにも同じ内容のPDF ファイルを掲載しています。そこで、本紙をお受け取りの方でPDF ファイルの閲覧でも差し支えない方は、是非メールアドレスのご登録をお願いいたします。なお、メールアドレスをご登録いただいた方には、本紙の発送を中止させていただく代わりに、ホームページへの掲載時にご連絡（メール）を差し上げますので、紙資源等の節約にご協力くださいますようお願いいたします。

◆メールアドレスの登録方法

食流機構ホームページの問い合わせフォームに「OFSI のメール配信希望」とご記入の上、ご送信ください。

編集後記

▶ 新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。馬場会長の年頭挨拶でも触れておりましたが、今月20日に米国大統領に就任するトランプ氏は米国ファーストを標榜しており、一方、欧州ではアンチグローバルの動きが隆盛しEUの雲行きも怪しくなっています。このように世界情勢は波乱含みの様相ですが、なるべく平穏な1年であることを願っています。

▶ 今年も「ふくしまの恵み商談会」が開催されます。ご存知のとおり福島県は食材の宝庫！なので、100社以上の出展企業が参加予定の本商談会に、食品バイヤーの皆様方は奮ってご来場ください。

▶ 食流機構のホームページが新しくなりました。これを機に、従来以上に有意な情報を本紙とともども発信していきたいと思っておりますので、今後の活動にどうかご期待ください。（T）